



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月13日

上場会社名 日本ホスピスホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7061 URL <https://www.jhosprice.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 正
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 加藤 晋一郎 TEL 03-6368-4154
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	2,820	23.4	190	89.7	122	302.9	66	966.8
2020年12月期第2四半期	2,286	17.4	100	△45.5	30	△75.8	6	△94.1

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 66百万円 (966.8%) 2020年12月期第2四半期 6百万円 (△94.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	8.36	8.22
2020年12月期第2四半期	0.79	0.77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	7,323	1,337	18.1
2020年12月期	6,296	1,259	19.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 1,328百万円 2020年12月期 1,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年12月期	-	0.00	-	-	-
2021年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	30.2	590	64.6	370	79.6	220	105.5	27.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による事業への影響については、現在のところ軽微であります。今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、新規ホスピス住宅の開設スケジュールの変更や新型コロナウイルス感染防止への対策費用が増大する可能性がありますので、今後の推移状況を注視してまいります。また、業績予想に変更が生じた場合には、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	7,947,000株	2020年12月期	7,887,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	216株	2020年12月期	187株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	7,932,484株	2020年12月期2Q	7,801,452株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料（P3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 （3） 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 経済状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進む一方で、東京都を中心に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除の見通しが立たず、新型コロナウイルス感染収束及び景気の回復が遅々として進まない状況が続いています。一方の世界経済は、ワクチン接種が進むアメリカやイギリスは新型コロナウイルスに伴う制限の解除が始まっており、経済活動の回復に期待が高まっています。

② 市場環境

当社グループの事業に関わる医療・看護・介護の環境につきましては、高齢者の増加と共に市場が拡大し需要が増加する一方で、社会保障費の抑制を目的として、病院を中心とした施設から在宅を中心とした医療へのシフトが進み、医療と介護の連携や地域単位でのケア体制の整備等が促進されると予想しております。

③ 当第2四半期連結累計期間におけるホスピス施設の状況

このような状況の中、当社グループは「すべては笑顔のために」というコーポレートスローガンを掲げ、在宅での看取りを前提とした、在宅ホスピス事業を推進してまいりました。当第2四半期においては、2021年5月に当社グループ初の関西拠点となる「ファミリー・ホスピス京都北山ハウス（京都市北区）」を、2021年6月に「ファミリー・ホスピス神戸垂水ハウス（神戸市垂水区）」を開設いたしました。2021年6月30日時点において、当社グループは20施設617室を運営しております。

④ 昨年新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けた施設の状況

昨年新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けた5施設のうち、当第1四半期末（2021年3月末）時点で満床（＝稼働率85％）に至っていなかった唯一の施設「ファミリー・ホスピス二子玉川ハウス（東京都世田谷区）」が2021年6月末時点で満床になり、第3四半期以降は利益回収期間に入ります。これにより、昨年新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けた全ての施設が満床状態（＝安定稼働施設）になりました。

⑤ 関西エリアへの進出

「ファミリー・ホスピス京都北山ハウス（京都市北区）」については、稼働率の向上に少々時間を要しており、認知度向上が今後の課題と考えております。「ファミリー・ホスピス神戸垂水ハウス（神戸市垂水区）」については、当初の予定を前倒し、6月下旬に開設しております。

⑥ 離職率の低下

創業以来注力してきた教育研修、ホスピス人材の育成とチーム作り、地域ドミナント展開の実現等により、前年同期比で離職率が約2割低下しました。離職率が想定より低下したことにより、例年、看護師等の流動性が高まる春に採用を集中させるため、2021年4月から6月にかけては一時的に人員が余剰になりましたが、その後の採用抑制により2021年7月末に余剰状態は解消しております。また、今後は、離職率が低下した事で採用費の減額が見込まれます。

⑦ 前年同期比較

当第2四半期連結累計期間においては、2020年12月開設の「ナーシングホームOASIS藤が丘（名古屋市名東区）」が黒字化に至るまでの赤字期間、2021年3月開設の「ファミリー・ホスピス大口ハウス（横浜市神奈川区）」、2021年5月開設の「ファミリー・ホスピス京都北山ハウス（京都市北区）」、2021年6月開設の「ファミリー・ホスピス神戸垂水ハウス（神戸市垂水区）」の開設コスト及び黒字化に至るまでの赤字期間があったものの、前年同期には立上げ途中にあった施設が安定稼働期に入ったこと、また、前年第3四半期以降に開設した施設が利益貢献期間に入ったこと等により、前年同期に比べ、増収増益となっております。

⑧ 当社の施設損益

当社グループの運営する施設は、開設に先立って看護師等の従業員を採用することでホスピスチームを作り、ホスピスチームが確立した事を確認して施設を開設し、開設した後に順次入居者を受け入れる形で運営を行っていることから、一定の稼働率に至るまでは売上に対して人件費等の費用が先行して発生することになります。また、施設開設後、約半年から1年をかけて当社グループが満室の目安とする85%の稼働率に至る計画で展開しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、2,820,393千円（前年同期比23.4%増）となりました。利益に関しては、営業利益が190,710千円（前年同期比89.7%増）となり、支払利息等の営業外費用101,199千円を計上した結果、経常利益は122,530千円（前年同期比302.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は66,364千円（前年同期比966.8%増）となりました。

当社グループは、在宅ホスピス事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産7,323,145千円となり、前連結会計年度末に比べて1,026,420千円増加しました。これは主に、建物及び構築物が752,177千円、リース資産が315,000千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は5,985,662千円となり、前連結会計年度末に比べて948,127千円増加しました。これは主に、短期借入金が332,000千円、流動及び固定負債の長期借入金が計296,920千円、リース債務が計292,732千円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,337,483千円となり、前連結会計年度末に比べて78,293千円増加しました。これは主に、利益剰余金が66,364千円増加したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は18.1%となり、前連結会計年度末の19.9%に比べて1.8ポイント減少しております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績につきましては、2021年2月12日に公表した「2020年12月期 決算短信」に記載した2021年12月期の連結業績予想から変更はございません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による事業への影響については、現在のところ軽微であります。今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、新規ホスピス住宅の開設スケジュールの変更や新型コロナウイルス感染防止への対策費用が増大する可能性がありますので、今後の推移状況を注視してまいります。また、業績予想に変更が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	959,456	723,307
売掛金	775,379	876,176
その他	89,978	123,850
流動資産合計	1,824,814	1,723,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	146,897	899,074
機械装置及び運搬具	10,665	10,665
工具、器具及び備品	83,209	89,419
土地	227,600	406,124
リース資産	3,289,732	3,604,732
建設仮勘定	237,924	123,883
減価償却累計額	△378,205	△455,085
有形固定資産合計	3,617,822	4,678,813
無形固定資産		
のれん	509,927	481,991
その他	15,189	13,705
無形固定資産合計	525,117	495,696
投資その他の資産		
繰延税金資産	20,324	49,179
その他	308,646	376,121
投資その他の資産合計	328,970	425,300
固定資産合計	4,471,911	5,599,811
資産合計	6,296,725	7,323,145

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	227,060	559,060
1年内返済予定の長期借入金	202,960	230,862
リース債務	57,203	64,226
未払金	55,268	68,380
未払費用	308,965	293,307
預り金	131,531	132,740
未払法人税等	9,273	44,202
賞与引当金	16,285	800
その他	42,170	23,172
流動負債合計	1,050,718	1,416,751
固定負債		
長期借入金	713,720	982,738
リース債務	3,169,845	3,455,555
資産除去債務	—	23,497
繰延税金負債	1,260	—
その他	101,991	107,120
固定負債合計	3,986,816	4,568,911
負債合計	5,037,535	5,985,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	343,930	349,930
資本剰余金	701,736	707,736
利益剰余金	205,083	271,447
自己株式	△395	△466
株主資本合計	1,250,354	1,328,647
新株予約権	8,835	8,835
純資産合計	1,259,190	1,337,483
負債純資産合計	6,296,725	7,323,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	2,286,286	2,820,393
売上原価	1,909,116	2,353,626
売上総利益	377,170	466,766
販売費及び一般管理費		
役員報酬	35,833	25,665
給料及び手当	64,801	74,557
賞与引当金繰入額	3,321	3,520
法定福利費	13,575	13,174
租税公課	65,522	63,219
のれん償却額	27,936	27,936
その他	65,651	67,983
販売費及び一般管理費合計	276,641	276,056
営業利益	100,529	190,710
営業外収益		
受取利息	4	5
助成金収入	1,186	32,351
業務受託料	364	136
その他	220	525
営業外収益合計	1,775	33,018
営業外費用		
支払利息	71,889	98,462
その他	—	2,736
営業外費用合計	71,889	101,199
経常利益	30,414	122,530
税金等調整前四半期純利益	30,414	122,530
法人税、住民税及び事業税	53,176	86,280
法人税等調整額	△28,982	△30,115
法人税等合計	24,193	56,165
四半期純利益	6,221	66,364
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,221	66,364

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年1月1日 至 2021年6月30日）
四半期純利益	6,221	66,364
四半期包括利益	6,221	66,364
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,221	66,364

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	30,414	122,530
減価償却費	50,799	76,199
のれん償却額	27,936	27,936
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,599	△15,485
受取利息	△4	△5
支払利息	71,889	98,462
売上債権の増減額 (△は増加)	8,755	△100,796
未払金の増減額 (△は減少)	18,971	△7,728
未払費用の増減額 (△は減少)	△10,939	△15,428
預り金の増減額 (△は減少)	6,206	1,186
その他	2,493	22,725
小計	201,923	209,595
利息の受取額	4	5
利息の支払額	△70,995	△92,842
法人税等の支払額	△126,801	△49,147
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,130	67,610
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39,328	△857,178
無形固定資産の取得による支出	△5,841	△1,670
差入保証金の差入による支出	△19,573	△57,617
差入保証金の回収による収入	38	105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,704	△916,361
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	372,000
短期借入金の返済による支出	—	△40,000
長期借入れによる収入	300,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△53,080	△103,080
リース債務の返済による支出	△17,960	△28,246
株式の発行による収入	—	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	80,000	12,000
新株予約権の発行による収入	5,130	—
自己株式の取得による支出	△130	△71
財務活動によるキャッシュ・フロー	313,959	612,601
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	253,385	△236,148
現金及び現金同等物の期首残高	827,687	959,456
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,081,073	723,307

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

当第2四半期連結累計期間において、当社100%出資の連結子会社であるカイロス・アンド・カンパニー株式会社及びナースコール株式会社の2社は、2021年4月1日付でカイロス・アンド・カンパニー株式会社を吸収合併存続会社、ナースコール株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行い、商号をファミリー・ホスピス株式会社といたしました。

この結果、2021年6月30日時点では、当社及び連結子会社1社により構成されております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは、在宅ホスピス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。